

砂押正章特任研究員が第 59 回日本放射線影響学会「優秀演題発表賞」を受賞

2016 年 10 月 27 日、原爆後障害医療研究所（原研医療）の砂押正章特任研究員が演題「放射線被ばく後のマウス胸腺における細胞動態－被ばく時年齢に依存した発がんメカニズムを考える－」により、第 59 回日本放射線影響学会優秀演題発表賞を受賞されました。

同賞は、40 歳未満の学会会員であることを条件に公募を行い、採択された演題に対して、5 人の評価者が発表内容、学術的重要性、新規性、発表者の貢献等を基準に採点した結果に基づき、優秀演題発表賞選考委員会により授与されるものです。なお、表彰式は同学会の懇親会（メルパルク広島内）において執り行われました。

